退院患者調査について（案）

１　目的

精神科病院からの退院促進を進めるに当たり、地域でのサポート体制や基盤整備の検討に資するため、精神科病院から退院する患者の転帰先等を調査する。

２　退院患者の状況を把握するための調査手法比較



３　退院患者調査について（案）

　　調査に対する各病院担当者の負担や、対象となる患者が偏らないよう考慮し、③の方法をベースに調査を組み立てる。

調査対象

府内の精神科病床を有する医療機関（63機関）から、府が指定する期間内に退院する患者全員。（対象者見込み　2,000～2,300名/月）

調査方法

　　大阪府の定めた期間（平成30年9月1日～3０日１ヶ月間）に、下記項目について調査。府から調査票様式を各医療機関に送付し、各医療機関で様式にデータ入力し、府へ返送する。

調査項目(案)

　①年齢区分

　②疾患名区分

　③今回の入院日（西暦/月/日）

　④今回の退院日（日）

　⑤入院時住所地（市町村）

　⑥退院時住所地（市町村）

　⑦入院前の場所（下記表1～５の選択肢から選択）

⑧本人が希望していた退院先（下記表1～５から選択）

　⑨実際の退院後の行先（下記表1～6から選択）



留意事項

　　対象者が事前に把握できず、退院直前で聞き取りが必要（項目⑥～⑨）となる。